

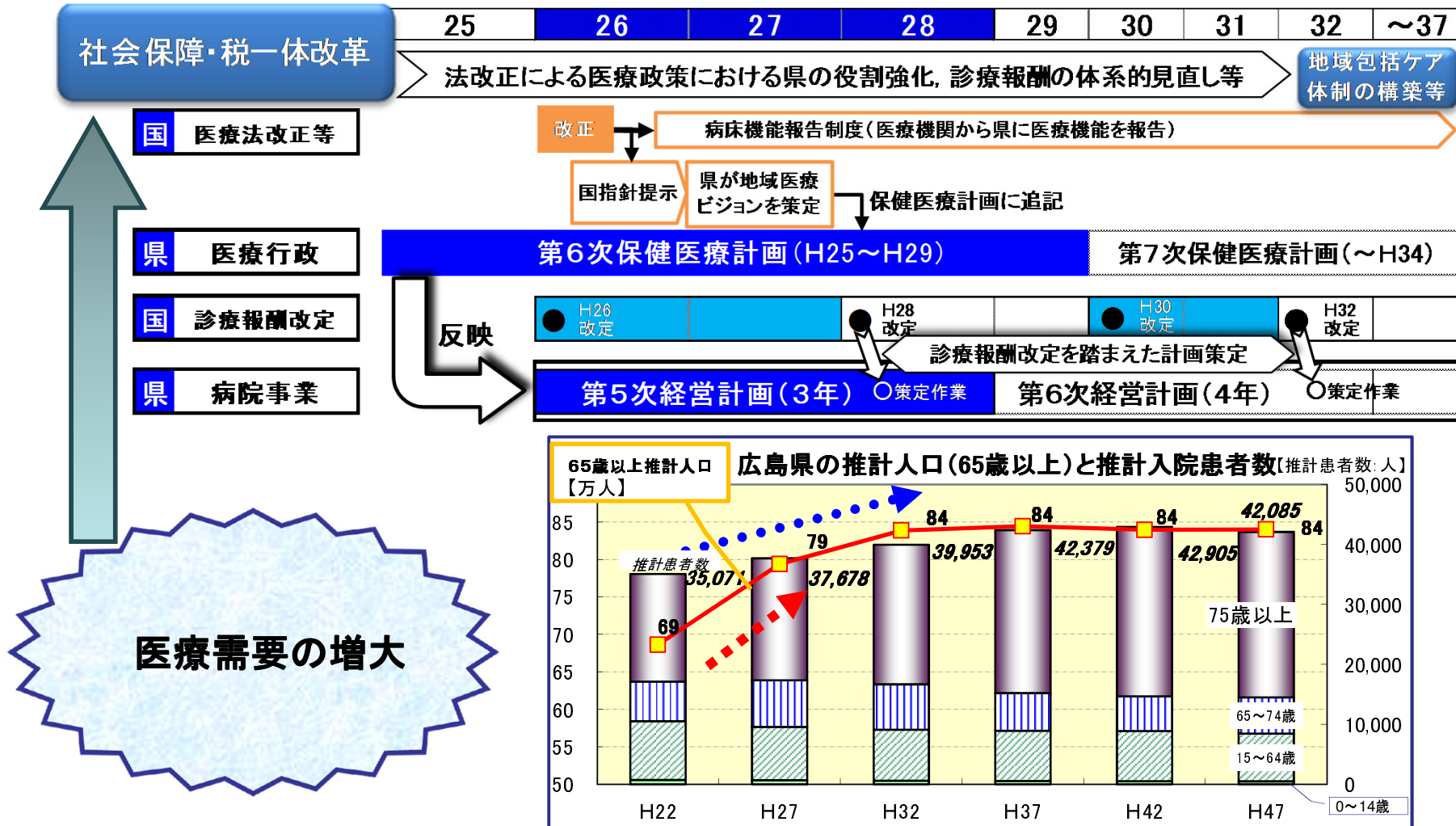
# 「第5次広島県病院事業経営計画(H26～H28)」骨子

---

平成26年3月  
病院事業局

# 1 環境変化

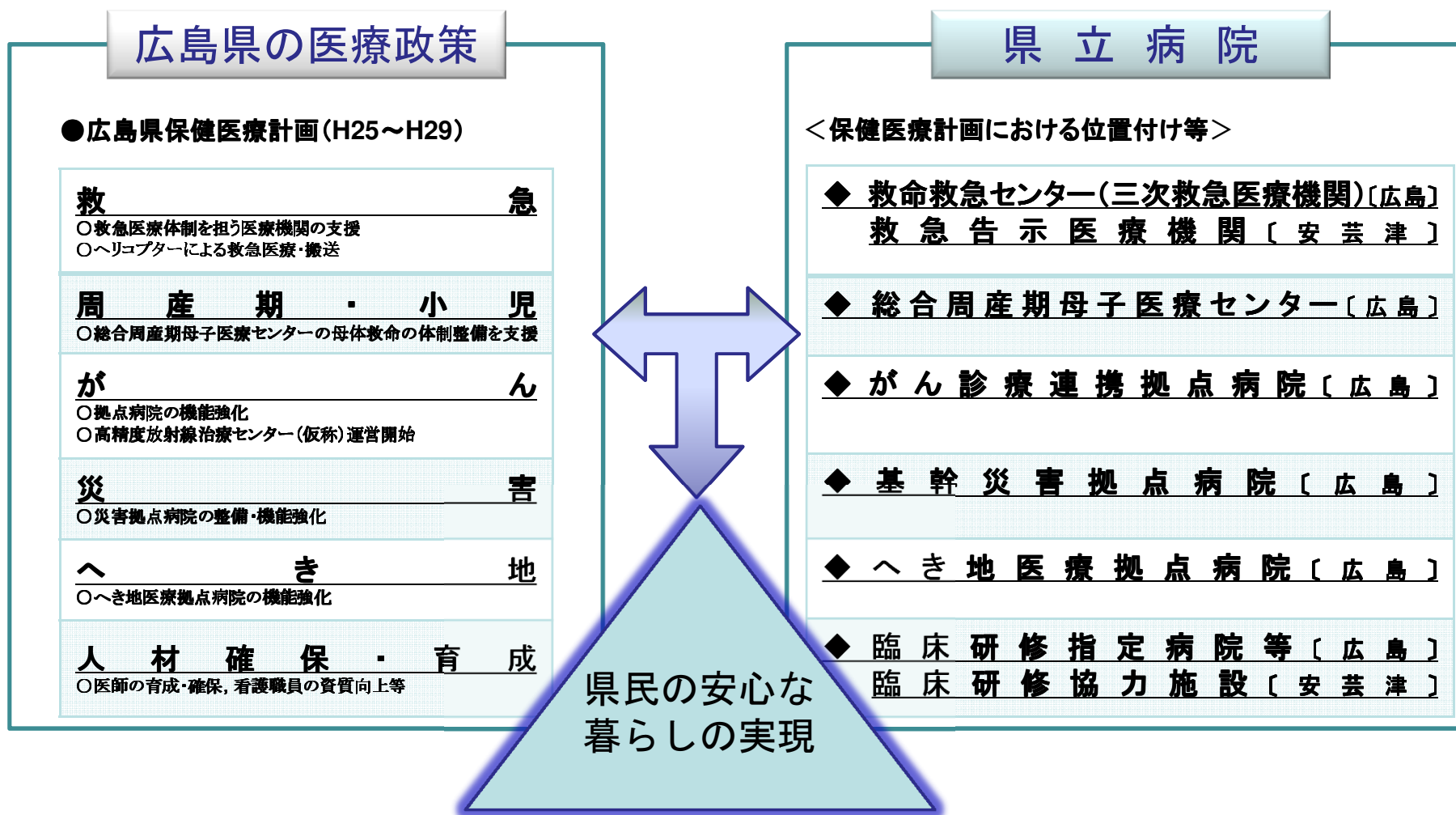
- ▶ 高齢化の進展に伴い、全国的に医療ニーズが増大することが予測されています。
- ▶ 広島県においても、医療需要の増加が予測され、医療提供体制の強化が求められています。



推計人口：国立社会保障・人口問題研究所(H25)  
推計患者数：H23患者調査(厚生労働省)から試算

## 2 広島県の医療政策と県立病院

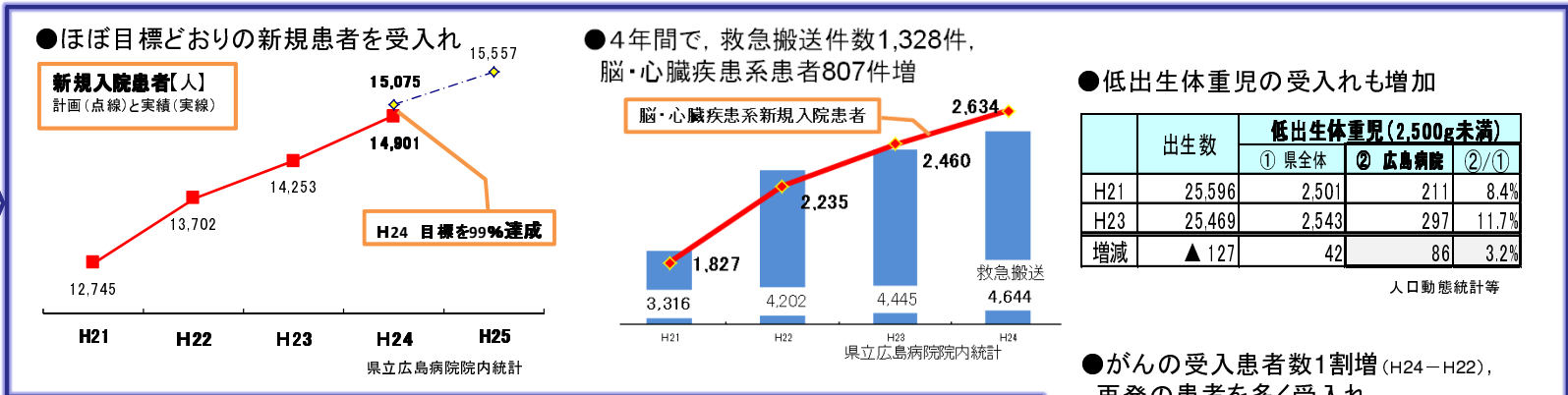
▶ 県立病院は、県民の安心な暮らしを支えるため、県の施策と密接に連携を図りながら、民間では担うことが困難な医療を、安定的に提供する役割を担っています。



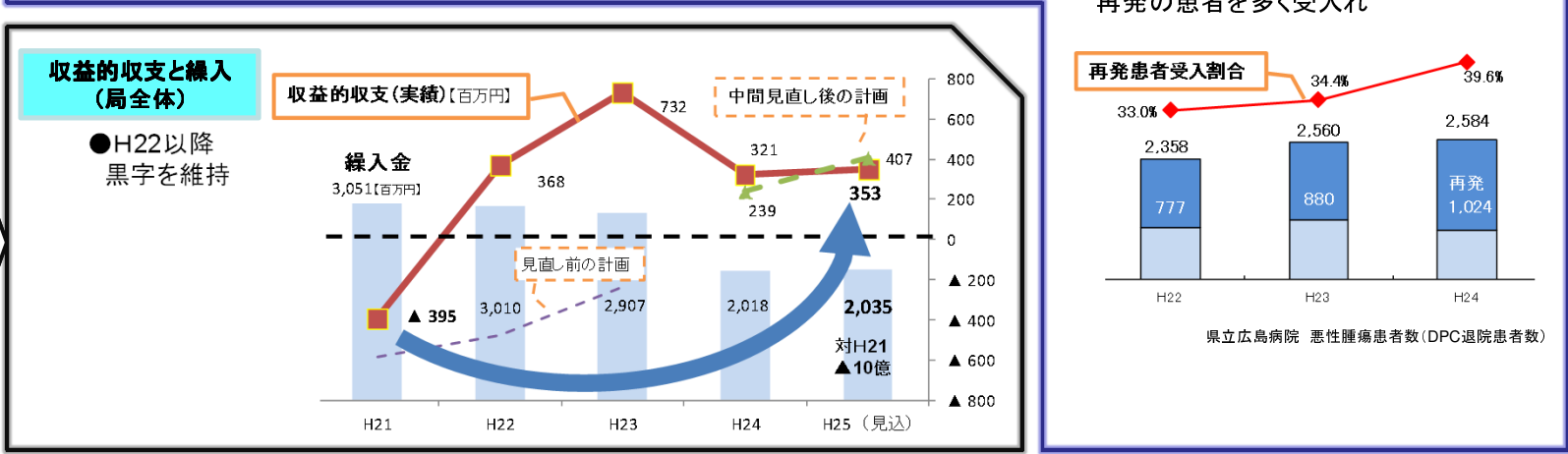
### 3 これまでの取組成果等

- ▶ 第4次経営計画（H21～25）においては、医療機能や経営基盤を強化するとともに、その具体的取組を支える医療提供体制の強化を図りました。
- ▶ また、計画の中間見直し（H23）において、一般会計繰入金の見直しを行い、より自立的な病院経営を目指して取り組みました。

医療機能



経営基盤



医療提供体制

H23.12に定数条例を改正（1,070⇒1,190名）し、H24以降、医療と経営を支える人員体制の段階的強化を実施

## 4 県立病院の方向性

- ▶ 県全体の医療を見据え、今後の環境変化に機動的に対応した医療の提供と医療人材の育成・派遣を、安定的、かつ、継続的に行うため、次の4つの機能を強化します。

### ◆県立病院の役割に応じた医療機能の強化と更なる患者サービスの向上

- ・ 県立病院の役割に応じ、患者が増加する分野に対応
- ・ 専門性を十分に発揮することによる患者サービスの向上

### ◆医療人材の育成・派遣機能の強化

- ・ 医師・看護師等の派遣により、地域に必要な医療提供体制を確保
- ・ 次世代の医療を担う医療人材の育成

### ◆経営力の強化

- ・ 会計制度見直しや消費税率引上げへの対応

### ◆危機管理対応力の強化

- ・ 東日本大震災の教訓を生かしたマニュアル整備や非常用自家発電装置増設等

広島県全体の医療水準の維持・向上

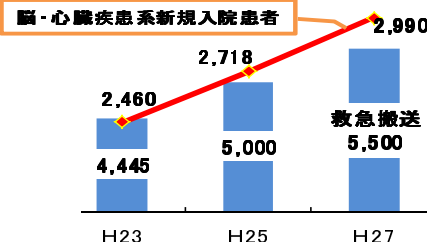
## 5 県立広島病院の重点的取組(1)

▶ 県立広島病院の役割に応じ、患者が増加する分野への対応や、医療人材の確保が困難な医療機関への支援を強化します。

**救急** **役割** 救命救急センター(3次)

**課題** 高齢化の進展等により循環器系疾患・救急患者が増加

救急搬送・新規患者推計  
(広島病院)

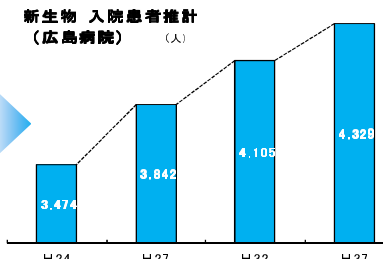
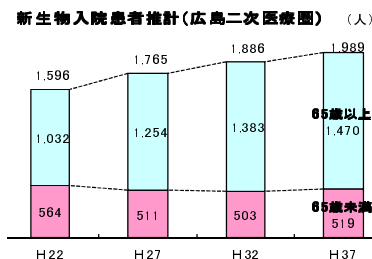


県立広島病院院内統計等から試算

**取組** 脳心臓血管センターの設置などによる受入体制強化

**がん** **役割** がん診療連携拠点病院

**課題** 高齢化の進展等により新生物(がん)患者数が増加



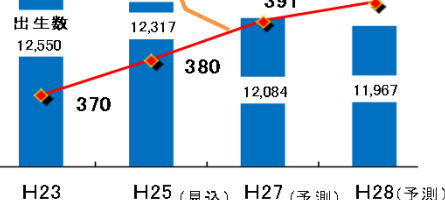
H23患者調査等から試算

**取組** 低侵襲治療やチーム医療の充実等

**成育** **役割** 総合周産期母子医療センター

**課題** 低出生体重児率の増加等により、NICUへの入院需要が増加

出生数とNICU入院児推計  
(広島二次医療圏)



人口動態統計等から試算

**取組** NICUの増床(9→12床)等

※NICU～新生児専門の集中治療室(Neonatal Intensive Care Unit)の略

**人材育成・派遣** **役割** へき地医療拠点病院  
地域医療支援病院

**主な実績** ～病院で育てて、磨いて、地域へ還元

**更なる取組**

**育成**

- 初期臨床研修医
- マッチング率(H20→25): 100%
- 研修後の県内定着96.6%(県全体: 80.8%)
- 認定看護師数: 25名(県内最多) など

・専門医の育成  
・多様な職種・分野での  
専門資格者の育成

**派遣**

- 安芸太田病院、大和・甲奴・総領診療所へ派遣
- 神石高原、JA尾道総合病院等へ診療科派遣
- 助産師派遣 など

・人材確保が困難な  
医療機関への支援強化

**受入**

- 実習受入れ(H24計1,082名、52,761時間)
- レベル向上を目指す地域医療従事者への研修 など

・復職支援研修の  
受入者数拡大

## 5 県立広島病院の重点的取組 (2)

▶ 環境変化に機動的に対応しながら、重点的取組を実施するために必要な人員体制を段階的に強化します。

(単位:人)

重点的取組等		H27		H28		H29		計	
救急	・脳心臓血管センターの設置 ・幅広い疾患に対応するための2次・3次救急の一体的運営 ・ドクターヘリ事業への継続的な協力	医師	1	医師	1	医師	1	医師	3
		看護師	12	看護師	4	看護師	4	看護師	20
		医療技術員等	5	医療技術員等	3	医療技術員等	3	医療技術員等	11
成育	・NICUの増床等 ・生殖医療の充実等	医師	1	医師	1	医師	1	医師	3
		看護師	8	看護師		看護師		看護師	8
		医療技術員等		医療技術員等		医療技術員等		医療技術員等	
がん	・低侵襲な治療やチーム医療の充実 ・地域連携パスの推進や地域の診療所等へのフォローアップによる地域のがん診療機能の向上	医師	3	医師	2	医師	2	医師	7
		看護師	3	看護師	3	看護師	3	看護師	9
		医療技術員等	3	医療技術員等	1	医療技術員等		医療技術員等	4
人材育成	・医療人材の確保が困難な医療機関に対する支援を強化 ・県外医師の受入継続, 専門医の育成 ・積極的な実習受入, 実務研修や復職支援の受入	医師	1	医師	1	医師	1	医師	3
		看護師	5	看護師	3	看護師		看護師	8
		医療技術員等	1	医療技術員等		医療技術員等		医療技術員等	1
									77

	H27	H28	H29	計	合計
医師	6	5	5	16	90人
看護師	28	10	7	45	
医療技術員等	9	4	3	16	
計	43	19	15	77	
病院事業管理者裁量枠 +13人					

現定数: 1,190名 ⇒ 1,280名

### ●より効率的な運営による収益の増加

		H25決見	H26	H27	H28	H29(参考)
入院	新規入院患者数	15,500	16,200	16,569	16,848	17,127
	延入院患者数	224,118	230,849	233,088	233,474	233,748
	単価	62,636	63,392	64,617	65,391	66,118
外来	患者数	321,377	321,591	326,415	331,311	336,281
	単価	15,441	16,317	16,861	17,375	17,576



## 6 県立安芸津病院の重点的取組

▶ 平成24年度に医療需要調査・分析を踏まえ役割と方向性を再構築し、平成25年度から取組を実施しています。

### ■地域で必要な医療 ～地域貢献の視点～

地域の「健康寿命の延伸」をキーワードに、病気の予防から治療、在宅への復帰まで、地域と一体となって地域住民の健康を支える取組を進めます。

特に、町内に病院がない大崎上島町で、町と「がん検診」や「地域包括ケア」の取組を進めるなど、従来の「治療」重点から「疾病予防」重視への施策転換を図る県の取組と歩調を合わせた様々な取組を進めていきます。

### ■持続可能な運営体制 ～収支改善の視点～

安芸津病院の持つ診療機能・専門性をフルに発揮するとともに、高度急性期病院との連携も強化し、地域住民が、安芸津病院で、又は安芸津病院を通して高度な医療を受けられる体制を整備し、地域住民や地域の開業医から「頼りにされる病院」として、診療機能の強化を図ることにより、収益性を高めます。

重点取組項目	取組内容等	主な目標指標と平成25年度※1の実績（/月）
整形外科の強化	寝たきり防止のための治療・リハビリ、ロコモティブシンドローム※2予防の中心的役割(啓発活動等)	○手術件数（H24：15件） 【目標】15件 【実績】22.2件
消化器内科の専門性の発揮	病気の早期発見・治療と地域の内視鏡検査の中心的役割(開業医との連携体制構築、住民への受診奨励等)	○上部内視鏡検査件数（H24：90.6件） 【目標】142件 【実績】115.8件 ○下部内視鏡検査件数（H24：36.7件） 【目標】61件 【実績】48.6件
外科診療体制拡充の効果発揮	住民の地域内での治療・療養体制の充実(住み慣れた地域での治療・療養(=安心確保))、地域医療水準の向上	○手術件数（H24：10.5件） 【目標】15件 【実績】9.4件
がん検診・特定健診等の受入体制の強化	地域一体で住民の健康を支える体制の充実(がん検診等の受診率の向上、地域での総合的ながん対策の実施・支援)	○健診(検診)件数（H24：3件/日） 【目標】6件/日 【実績】7.5件/日
地域包括ケアへの取組強化(モデル的取組の実践)	介護・福祉・行政等との連携ネットワークの中核として、住民の安心を支える活動拠点、他地域への普及	○ケアカンファレンス件数（H24：23.8件） 【目標】25件 【実績】30.7件

※1 平成25年度の実績は、H26.2までのもの ※2運動器の機能が衰え、要介護や寝たきりになってしまうリスクの高い状態(運動器症候群、ロコモ)



## 7 収支計画等

▶ 会計制度見直しや消費税率の引上げに適切に対応し，政策医療の安定的，継続的な提供により，県民の安心な暮らしや次世代の医療を支えています。

### ■ 病院事業全体の収支計画

会計制度見直し(H26～)

消費税

5%

8%

10%

(税込, 単位: 億円)

	H25決算見込	H26	H27	H28	H29(参考)
<b>病院事業収益</b>	231.0	244.3	252.8	257.8	261.8
うち入院収益	150.4	156.7	161.5	163.6	165.5
うち外来収益	54.9	58.6	61.6	64.2	65.7
うち長期前受金戻入		4.3	4.5	4.9	5.5
<b>病院事業費用</b>	227.5	248.9	251.4	256.6	260.3
うち給与費用	114.8	118.7	123.4	124.9	126.2
うち材料費用	56.7	61.1	63.7	65.3	66.3
うち経費	30.7	32.3	32.8	33.4	33.4
うち特別損失	0.6	14.9	10.1	10.1	10.1
<b>経常損益</b>	3.9	10.0	11.2	11.1	11.3
<b>収益的収支</b>	3.5	▲ 4.6	1.4	1.3	1.5
<b>資本的収入</b>	14.4	21.6	29.3	38.7	18.5
うち企業債	6.0	12.5	21.7	30.8	10.1
うち出資金等	7.8	7.1	7.4	7.7	8.3
<b>資本的支出</b>	34.0	36.4	45.5	55.1	37.9
うち建設改良費	10.4	14.7	22.9	32.1	11.0
うち企業債償還金	21.0	19.1	20.1	21.0	24.9
<b>資本的収支</b>	▲ 19.6	▲ 14.7	▲ 16.1	▲ 16.5	▲ 19.3
<b>単年度資金収支</b>	0.0	3.9	3.4	4.2	2.6
<b>〈繰入金〉(再掲)</b>					
<b>一般会計繰入金合計</b>	28.2	26.3	27.3	27.5	28.1
収益的収支繰入金計	20.4	19.2	19.9	19.8	19.8
資本的収支繰入金計	7.8	7.1	7.4	7.7	8.3

補助資産の減価償却見合いを収益化

引当金を計上

[H26] ……14億円  
退職手当, 賞与, 貸倒  
[H27~] ……10億円  
退職手当のみ

注) 端数処理の関係で合計等が一致しない場合がある。